



株式会社 新日

補償ミニコミ

本社 / 〒454-0011 名古屋市中川区山王一丁目8番28号 TEL 052-331-5356 FAX 052-331-4010
URL http://www.shinnichi.co.jp E-mail:shinnichi@shinnichi.co.jp

- 三重支店 / 〒510-0305 三重県安芸郡河芸町中別保2308番地5 TEL 059-244-0206 FAX 059-244-0205
岐阜支店 / 〒500-8347 岐阜県岐阜市松原7番地 TEL 058-276-7567 FAX 058-276-7568
豊田支店 / 〒470-0375 愛知県豊田市亀首町町屋洞25-5 TEL 0565-43-0061 FAX 0565-43-0062
千葉営業所 / 〒273-0005 千葉県船橋市本町五丁目2番12号507 TEL 047-460-5686 FAX 047-460-5685
静岡営業所 / 〒435-0053 静岡県浜松市上新屋町247-3 TEL 053-411-8317 FAX 053-411-8319

編集者

小川 時由



アスベストの調査



このところ連日のように土壌汚染、ダイオキシン、産廃等の環境問題が新聞紙面を賑わせています。
そのなかでアスベストは、建物の建材から機械、造船、自動車にまで様々なところで使用されています。
このアスベストによる被害は、6月30日朝刊の記事「クボタ、石綿疾患78人死亡」に始まって今日（7月15日時点）に至るまで毎日のように痛痒症や死者が確認され、静かな問題となつてい

かなる時限爆弾」としてマスコミでは話題の中心的存在です。
特に2000年〜80年代に建設された建物では、大量のアスベストが使用されており、この時代に建てられた建物がそろそろ建て替えの時期がきていることから、なおさら深刻な問題となつてい

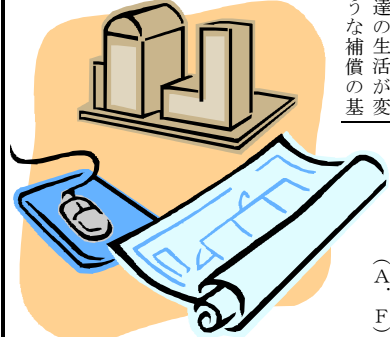
と同時、我々補償コンサルタントにとって新たな業務分野になるのではないかと期待されています。
(M・A)

体処理計画及びその費用を別途検討する必要があります。
補償コンサルタントは7部門の技術分野から成り立っていることから、建築の素養のある者ばかりではあ

人と家

補償の仕事をしてから8年が過ぎました。最近になって「補償」とい

色々な人達がいて色々な家で生活しています。そこがどんな場所、どんな空間であつても、その人達にとっての「住めば都」に他なりません。私

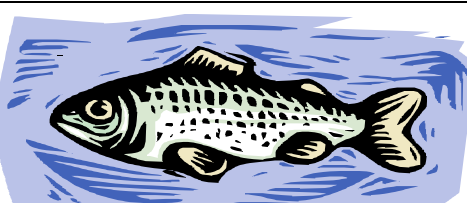


漁業補償と環境調査

先だって私に内水面の漁業補償が無い込みました。
業務の内容は、現在供用中である堰の老朽化に伴って新たに堰を建設することから、河川の流況が変化することが予想されるため、数年に渡って「水産資源影響調査」が行われており、これを基に補償額を算定するというものです。
早速数冊におよぶ「水産資源影響調査」を借用して補償額を算定しようとしたのですが、手も足も出ませんでした。以前にも事業施行前の「環境調査」資料から漁業補償額を算定できないかと相談を受けたことがありますが、やはり算定は不可能でした。
これらには、補償額を算定する上で必要となる算定諸元（漁獲量、収益率、魚価そして被害率）が含まれていないので

「環境調査」が調査項目に含まれていることがありません。漁業補償、特

「環境調査」が調査項目に含まれていることがありません。漁業補償、特



# 終着駅雑話 - その5 - (近畿、中国地方)



皇による紫雲宮跡は一見の価値があり、朝宮茶も茶人に愛好される。天王寺から南下する阪和線の鳳駅より西方向一・七kmの終着駅東羽衣は古いが、日根野より分岐する関西空港線十一kmの終着駅関西空港は、新空港が造成されてからのものである。

紀勢本線の始発和歌山駅より西方向三・三kmの終着駅和歌山市駅は、南海電車の和歌山市駅に隣接、繁華街やお城も程近い。奈良方面より関西本線が来て天王寺を過ぎる列車には、新宮より終着駅JR難波に行くものと環状線を西九条を経て大阪駅に行くものとある。昔の関西線の終着は湊町駅であったことが懐かしい。

西九条から分岐、四一kmの桜島線の終着駅発島は、瀬戸内海航路の発着港として栄えた天保山が近い。今や愛称学研都市線の片町線は、奈良線と関西本線の合する木津駅より四車線を経て昔は終着駅片町に達するものであったが、不便な片町駅は廃止され、環状線と交叉する京橋までとし、更に京橋よりJR東西線が天満宮、新福島を経て、東海道本線の尼崎に達し、誠に便利になった。

昔は、福知山線の延長の尼崎港駅、山陽本線加古川よりの高砂駅、姫路よりの飾馬港駅、加古川線西脇よりの鍛冶屋駅などのJRの終着駅があったが、現在では廃止され無い。山陽本線の兵庫駅より二・七kmの終着駅和田岬へは休日には運休であるが

は、今は民営の信楽高原鉄道になったが、聖武天皇

平日は多くの本数の列車が走っている。加古川線尼神より東へ六・八kmのJR三木線の終着駅三木は別所氏の城下街、金物工業の盛んな所であるが、今は民営の三木鉄道、同じく粟生駅より北へ十四kmのJR北条線の終着駅北条町は山陽と山陰を結ぶ宿場街であったが、今は民営の陽と山陰を結ぶ宿場街であったが、今は民営の北条鉄道である。山陰本線鳥取から南下の因美線郡家より二十kmの若核線の終着駅若核は城下街の面影も薄らぎ、民営の若核鉄道となったが、兵庫県に抜ける要路である。米子駅より北へ十八kmの境線の終着駅境港は古くは九州へ北海道の回船の寄港地であったが、今や水産物の有数の水揚げを誇っている。

山陰本線大雲市駅より七・五kmの終着駅大社駅は誠に立派な駅舎であり、普通切符でブルートレインに乗れる唯一の区間であったが、残念ながら平成二年に廃線になった。山陰本線長門市駅より北へ二・二kmの終着駅仙崎は、青海島など国定公園探勝の基地、山陽本線

セメントの町小野田の南にある終着駅長門本山は周防灘に沿ふ市民の憩いの場である。山陽本線の錦帯橋や鶴川に沿って北上、三十八kmの終着駅錦町までのJR山陽日線は、島根県の日原を目指したと、今は民営の錦川鉄道である。広島駅の西隣、横川駅より分岐した可部線は、昔は六十kmの終着駅、三段峠まであったが、現在は合理化された、十四kmの可部が終着である。岡山より宇野線十五kmの茶屋町で、本四備讃線と別れ、宇野線をまた十八kmで終着駅宇野に着く。瀬戸大橋が出来るまでは、四国連絡の幹線鉄道であり、高松との連絡船の発着港であった。高松市の灯が見えているのうちに、濃霧停船で動かず、久しく待たされ、海上交通の厳しさを味わったこともあった。高松から宇野港に着き、プラントホームの列車まで急ぐのを宇野マラソンと呼ぶ程であった。連絡船だけグリーンに乗り、早く下船して列車に乗るのも生活の知恵と苦笑し

が走っている。加古川線尼神より東へ六・八kmのJR三木線の終着駅三木は別所氏の城下街、金物工業の盛んな所であるが、今は民営の三木鉄道、同じく粟生駅より北へ十四kmのJR北条線の終着駅北条町は山陽と山陰を結ぶ宿場街であったが、今は民営の陽と山陰を結ぶ宿場街であったが、今は民営の北条鉄道である。山陰本線鳥取から南下の因美線郡家より二十kmの若核線の終着駅若核は城下街の面影も薄らぎ、民営の若核鉄道となったが、兵庫県に抜ける要路である。米子駅より北へ十八kmの境線の終着駅境港は古くは九州へ北海道の回船の寄港地であったが、今や水産物の有数の水揚げを誇っている。

は、今は民営の信楽高原鉄道になったが、聖武天皇



## 増える環境関連業務

近年、地球環境問題などの新たな環境問題が顕在化してきたことから平成五年環境基本法が制定されました。これまでに昭和四十二年に制定された公害対策基本法、四十七年に制定された自然環境保全法を基本として公害防止、環境保全として一定の役割を果たしてきました。

しかしながら都市・生活型公害問題、増え続ける廃棄物の問題、地球温暖化、オゾン層の破壊などの国際的な広がりを見せた地球環境問題等に対応することができなくなっていました。環境基本法はこのような環境問題の変化に対応したもので、基本理念として、環境の保全は、環境を健全で恵み豊かなものとして維持することが人間の健康で文化的な生活に欠くことのできないものであること。環境の保全は、社会経済活動その他の活動による環境への負荷をできる限り低減すること、環境の保全に関する行動がすべての者の公平な役割分担の下に自主的かつ積極的に行われるようになること。我が国の経済社会が国際的な密接な相互依存関係の中で営まれていることにかんがみ、地球環境保全は、我が国の能力を生かして、我が国国際社会において我が国の占める地位に応じて国際的協調の下に積極的推進されなければならないなどが定められています。

この新たな環境問題が顕在化してきたことから平成五年環境基本法が制定されました。これまでに昭和四十二年に制定された公害対策基本法、四十七年に制定された自然環境保全法を基本として公害防止、環境保全として一定の役割を果たしてきました。

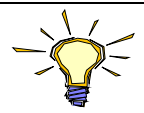
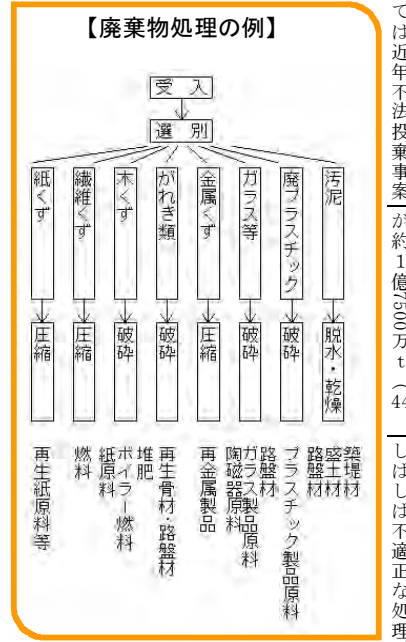
この新たな環境問題が顕在化してきたことから平成五年環境基本法が制定されました。これまでに昭和四十二年に制定された公害対策基本法、四十七年に制定された自然環境保全法を基本として公害防止、環境保全として一定の役割を果たしてきました。

等の多発、ダイオキシン問題により、環境問題として産業廃棄物処理に對する不信感、不安感が増大し施設設置に當って白書より）この再利用率は今後もさらには上昇します。循環型社会に形成され、建設リサイクル法及び逼迫状態にある最終処分場の受入量に對して強く要請され、今後ともこういった産業廃棄物処理施設の建設は進めようとして考えられます。また、我々コンサルタントは施設設置、稼働に伴う各種調査、環境影響評価等を行うに際して近隣に与える環境影響の特性、再利用の方法（リユース・マテリアルリサイクル・ケミカルリサイクル・フェューエルリサイクル・サマルリサイクル）等を良く理解し優良な施設が出来るよう提案していかなければなりません。

平成十三年度における全国の産業廃棄物の総排出量は約4億tとなつています。そのうち再生利用された量は約1億3000万t（全体の46%）、中間処理により減量化された量は約1億2000万t（44%）です。

また補償調査業務においても廃材の算定は従来にまして重要となつてきています。これまで、廃棄物は不要な物であるためその処分適正な費用を負担しようとする動機が薄く、しばしば不適正な処理が行われてきました。

また補償調査業務においても廃材の算定は従来にまして重要となつてきています。これまで、廃棄物は不要な物であるためその処分適正な費用を負担しようとする動機が薄く、しばしば不適正な処理が行われてきました。



## 後編集

暑中お見舞い申し上げます。本格的な夏を迎え、夏休みを楽しみにしていた子供達とは裏腹に、我々大人達には少々辛い季節の到来ではないでしょうか。夏日（日中の最高気温が25℃以上の日）から始まり、真夏日（日中の最高気温が30℃以上の日）、熱帯夜（その日の最低気温が25℃以上の夜）が繰り返され、更に都市部ではヒートアイランド現象（都市部でできる局地的な高温域の事）も重なる、夏バテや睡眠不足といった健康を損なう原因にもなります。病は大敵です、皆様お体には充分ご自愛ください。ますようお祈り申し上げます。（T・O）